

位置図



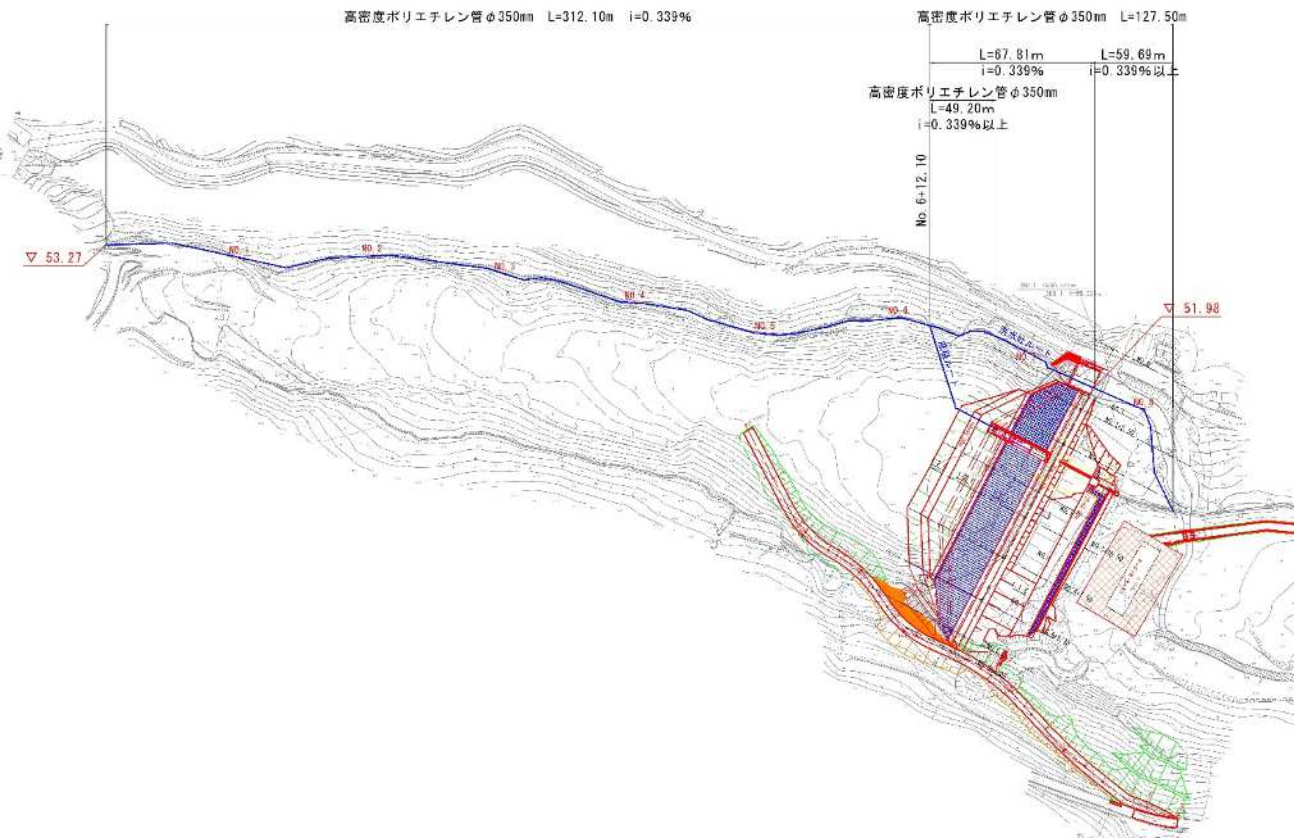
現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- 施行箇所のため池左岸側は急峻地形
- ルートは堤体改修工事に支障しないよう左岸側に設定
- 起終点で縦断勾配が取れないため起点を堰上げ、終点側の洪水吐を部分的に撤去する
- 堤体および取水施設の施工が完了するまでは洪水吐ルートとし、洪水吐の施工を行う段階で底樋ルートへ切り替える

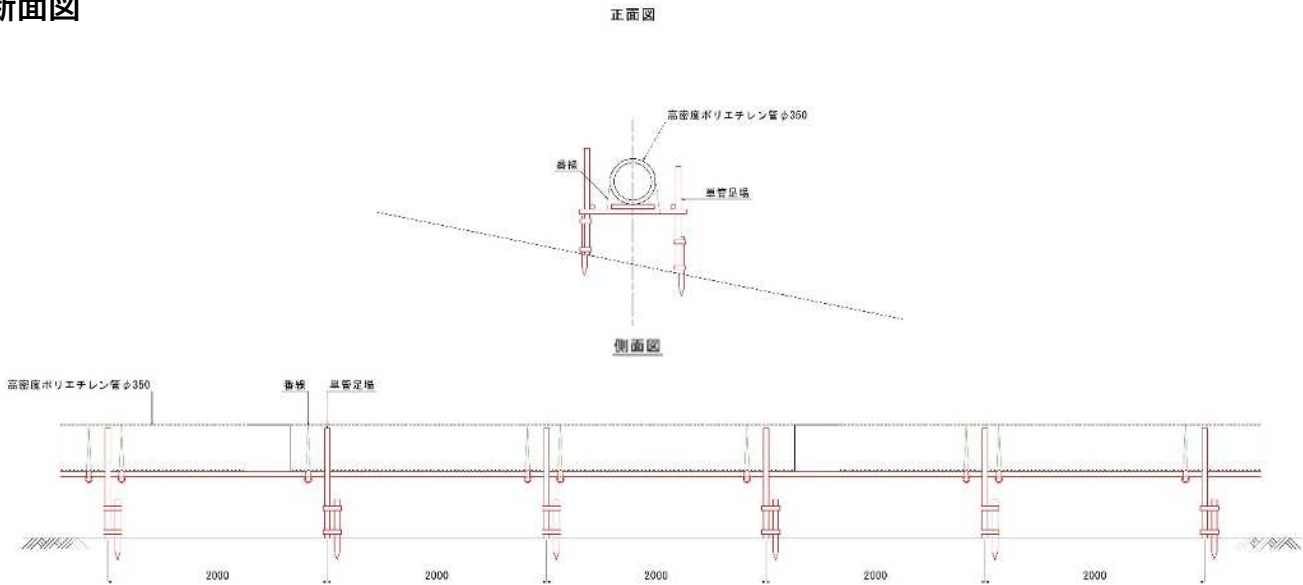
設計条件

- 堤体改修工事期間 令和 9 年 11 月～令和 12 年 2 月
- 取水期間 4 月～11 月
- 流量 0.089 m³/sec(5.3 m³/min)
- 管種 高密度ポリエチレン管

平面図



標準断面図



施工者からの意見および対応方針

○改善事項

■塩ビ管やポリエチレン管等の資材について、価格高騰や入手困難な状況が生じている。上池からポンプアップし、左岸道路沿いに管路を配管してはどうか、堤体付近に釜場を設け、そこからポンプアップはしてどうか。他の溜池工事で類似の実績あり。

- 水管理者との調整等が必要であるが資材の入手が困難であるため、提案いただいた方法が良案と思われる
- 堤体付近に釜場を設け、そこからポンプアップする計画に変更する。

■管が軽量とは言え、左岸側道路から足場や管を運搬するのは大変である

- 上記計画に変更する

■発電機では管理が大変であるため、商用電源でポンプを稼働させたい

- 当該地まで供給可能か九州電力に確認

○確認事項

- ポンプアップ方式による用水供給のイメージ図を作成
- 水管理者に変更後の計画で水利用に問題ないか確認
- 九州電力に施行箇所まで商用電源が供給可能か確認

・ポンプアップ方式による用水供給のイメージ図

